

金属屋根の塗替え塗装仕様

Rs-1 2液形弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料 1~2回塗り (施工店単独保証)

Rs-2 2液形弱溶剤系シリコン樹脂塗料 1~2回塗り (施工店単独保証)

工程	塗料名	塗回数	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (20℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等は、ディスクサンダー・スクレーパー・研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗浄で除去する。					
下塗り	1液形変性エポキシ樹脂プライマー	補修塗 ・ 全面塗	0.13~0.16	4時間以上	塗料用シンナー 0~15	はけ ウールローラー
	2液形変性エポキシ樹脂プライマー		0.12~0.16			
上塗り	2液形弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料	1 ↓ 2	0.11~0.14 (0.22~0.28)	2時間以上	水道水 5~10	はけ ウールローラー
	2液形弱溶剤系シリコン樹脂塗料					

注 1.下塗りの種類の選定は旧塗膜の種類、劣化程度等により選定し、塗料メーカーの特記による。

2.上記の各数値は全て標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。

Gc-3 2液形弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料 3回塗り

Gc-4 2液形弱溶剤系シリコン樹脂塗料 3回塗り

工程	塗料名	塗回数	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (20℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等は、ディスクサンダー・スクレーパー・研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗浄で除去する。					
下塗り	1液形変性エポキシ樹脂プライマー	1 ↓ 2	0.13~0.16	4時間以上	塗料用シンナー 0~10	はけ ウールローラー
	2液形変性エポキシ樹脂プライマー					
上塗り	2液形弱溶剤系ポリウレタン樹脂塗料	2	0.11~0.14	2時間以上	専用シンナー 5~15	はけ ウールローラー
	2液形弱溶剤系シリコン樹脂塗料			5時間以上		

注 1.下塗りの種類の選定は旧塗膜の種類、劣化程度等により選定し、塗料メーカーの特記による。

2.上記の各数値は全て標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。

※ 各塗料メーカーの仕様に従い、施工上の要点及び注意事項を必ず厳守して施工する。

Rs-5 1液形弱溶剤系フッ素樹脂塗料 2回塗り (トウペ レベルフロン/レベルフロンプレミアム)

工 程	塗 料 名	塗回数	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等は、ディスクサンダー・スクレーパー・研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗浄で除去する。					
下塗り	2液変性エポキシ樹脂プライマー	1	0.15~0.17 0.19~0.21	24時間以上 10日以内	プライマーシナー 0~5 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
	弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー	1	0.15~0.17 0.19~0.21	24時間以上 10日以内	塗料用シナー 0~5 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り	1液形弱溶剤系フッ素樹脂塗料	1	0.11~0.14	(16時間以上) (5日以内)	塗料用シナー 3~10 5~20	はけ・ウールローラー エアレススプレー

- 注) 各数値はすべて標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。
 ※ 下塗りは、弱溶剤形変性エポキシ樹脂プライマー又は、弱溶剤形変性エポキシ樹脂プライマーを1層塗りする。
 ※ ()内は、もし必要になった場合の時間を示す。
 ☆ 各塗料メーカーの仕様に従い、施工上の要点及び注意事項を必ず厳守して施工する。

Rs-5 2液形弱溶剤系フッ素樹脂塗料 3回塗り (日本ペイント ニッペファイン4Fセラミック)

工 程	塗 料 名	塗回数	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等は、ディスクサンダー・スクレーパー・研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗浄で除去する。					
下塗り	2液変性エポキシ樹脂プライマー	1	0.16~0.18	4時間以上 7日以内	塗料用シナー 0~10 0~5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
	1液変性エポキシ樹脂プライマー	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用シナー 5~10	はけ・ウールローラー
上塗り	2液形弱溶剤系フッ素樹脂塗料	2	0.12~0.14	3時間以上	塗料用シナー 0~10 5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

- 注) 各数値はすべて標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。
 ※ 下塗りは、弱溶剤形変性エポキシ樹脂プライマー又は、弱溶剤形変性エポキシ樹脂プライマーを1層塗りする。
 ☆ 各塗料メーカーの仕様に従い、施工上の要点及び注意事項を必ず厳守して施工する。

Rs-6 屋根用遮熱(高反射率)塗料 3回塗り

工程	塗料名	塗回数	標準塗布量 (kg/m ² /回)	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤 希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	腐食・はがれ・浮き・発錆等は、ディスクサンダー・スクレーパー・研磨紙等を用いて除去する。 ごみ・汚れ・などを高圧水洗浄で除去する。					
下塗り	遮熱専用変性エポキシ樹脂プライマー	1	0.16～0.18	4時間以上 5日以内	塗料用シンナー 0～10 0～5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
上塗り	屋根用遮熱(高反射率)塗料	2	0.12～0.14	3時間以上 7日以内	塗料用シンナー 0～0.5 0～10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

注)各数値はすべて標準のもので、施工方法・施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがある。

※ 遮熱塗料には、フッ素樹脂系・シリコン樹脂系・ポリウレタン樹脂系・アクリル樹脂系が有る。

☆ 各塗料メーカーの仕様に従い、施工上の要点及び注意事項を必ず厳守して施工する。

工 法

- i 塗料は内容物が均一になるように十分攪拌する。
- ii 希釈する場合、薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不足となりますので注意し、所定の割合で行う。
- iii はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗付量、表面肌が異なり色相差が出来るので、はけ塗りの部分は、希釈割合の所定内で希釈を少なくして塗装する。
- iv 2液形塗料は、塗料液に硬化剤を所定量加えかくはんし、可使時間(ホットライフ時間)以内に使用する
- v 2液形塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守る。(縮み、割れ、乾燥不良などが起る原因)

注意事項

- i 塗装場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上または換気が不十分で結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ii 外部の塗装中に降雨、降雪のおそれがある場合および強風時は塗装を避ける。
- iii 塗装時ならびに塗料の取り扱い時は、十分に換気を行い火気厳禁にする。
- iv 製品の安全に関する詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート(MSDS)を参照する。